



低温・積雪による 農作物等被害防止対策

令和7年12月25日
京都府南丹農業改良普及センター

気象庁の1か月予報（12月18日発表）では12月20日～1月19日にかけては、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなり、天候は、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月では、気温は高い予報ですが、南丹地域では例年、年に数度大雪の日があり、突然の低温や大雪に見舞われる可能性があります。

今後の低温・積雪に備え、各品目の低温・積雪による農作物等被害防止対策をまとめましたので、農作物やハウスの被害防止に努めましょう。

1 作物（麦類）

- ・積雪前、融雪による湿害を防止するため、直交する排水溝を繋ぎ、水が確実に排水口へ流れるようにしましょう。
- ・積雪後、ほ場の様子を確認し、滞水があれば、排水溝や排水口を点検し、すみやかに排水を行いましょう。

2 ハウス園芸品目（野菜・花）

パイプハウスの雪害被害を防ぐためには、降雪前のハウス内外の点検と備えが重要です。積雪予報の情報収集に努め、予め対策できるようにしましょう。



①低温対策・保温の方法

- ・すきま風対策をしておきましょう。

例：ビニールの破れや戸口の修理、入り口やサイドにビニール（内張り）を垂らす等

- ・被覆資材のべたがけやトンネルがけで作物を保温しましょう。ただし、被覆すると湿気がこもり病気が発生しやすくなります。昼間は被覆をめくり、換気しましょう。
- ・保温を気にするあまりハウスをずっと締め切っていると、ハウス内が過湿状態になり、病気が発生しやすくなります。ハウス内の露を乾かし、病気を予防するため、晴れた日はハウスサイドを開けて換気を行いましょう。

（換気時間は、その日の天気・気温と作物の濡れ具合で調整しましょう。）

②ハウスの雪害対策（別紙）

- ・ハウス中央部に補強用の支柱を立てましょう。地面と支柱との接地面に板を敷きます。
- ・筋交い等の骨材がしっかり固定されているか点検をしましょう。
- ・被覆フィルムを点検し、フィルムの緩みや破れを補修しましょう。

裏面に続く

- ・「園芸ハウス台風対策マニュアル 第6章 雪害対策」のチェックシートを参考に対策を実施しましょう。

「園芸ハウス台風対策マニュアル 第6章 雪害対策」はこちらから！

下記 URL から検索できます！

<https://www.pref.kyoto.jp/nosan/news/documents/detailverall.pdf>



3 露地野菜

- ・被覆資材のべたがけやトンネルがけで作物の保温・防霜対策をしましょう。
ただし、被覆すると湿気がこもり病気が発生しやすくなります。昼間は被覆をめくり、換気するようにしましょう。孔あきビニールと不織布を組み合わせるとトンネル被覆すると、換気の手間が省けます。

4 果樹

- ・カンキツ類やイチジク等寒さに弱い樹種は、凍結防止のため不織布等で樹全体を覆いましょう。
- ・落葉果樹（モモ、ナシ、ブドウ等）では、できるだけ早くせん定を済ませましょう。



安全に注意しましょう！

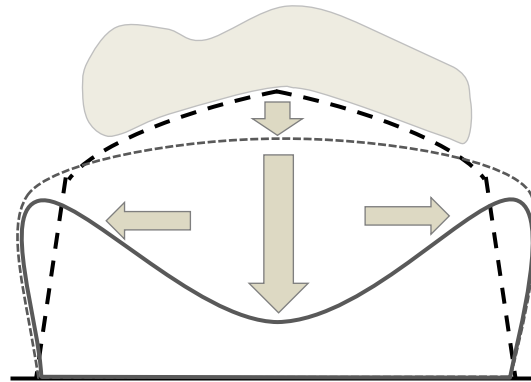
農地・農業用施設の見回りには、以下の点に注意して行ってください。

1. 悪天候時に作業を行わない。
2. 単独行動を避け、複数人で対処する。
3. 屋根及び軒下ハウス間の積雪は、施設倒壊のおそれがないことを確認した上で、作業を行う。
4. 用水路や傾斜地など危険な場所には近づかず、足下等、ほ場周辺の安全に十分に注意し、転落、滑落事故に遭わないように注意する。

ハウスの雪害対策

○パイプハウスの雪害の例

真上からの圧迫による変形



(1) 事前の対策(ハウスの点検・補強)

○支柱の設置

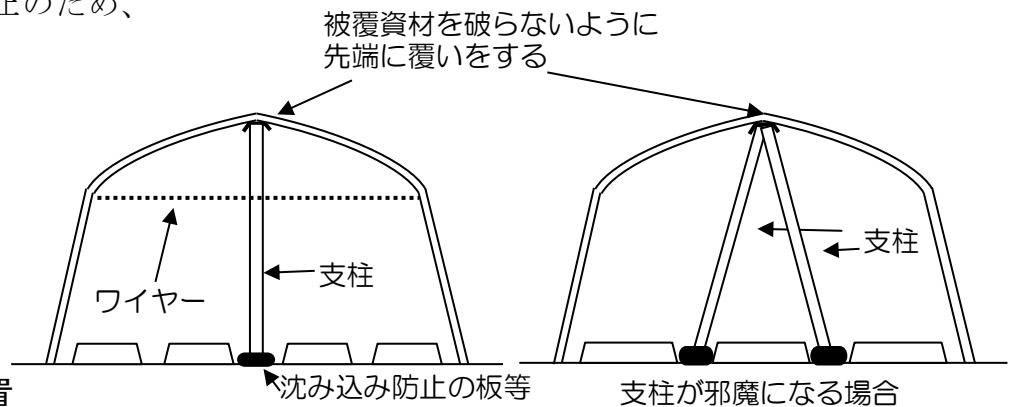
右図のように補強用の支柱(間伐材、31.8mm 径パイプなど)を2～5 m間隔で設置。
その際、沈み込み防止のため、
支柱の下に板を敷く。

○ハウス全体の穴 や破れの補修

⇒ハウス内の保温

○ハウスに平行し てワイヤーを設置

⇒雪の重みでパイプが外側に開くのを防ぐ



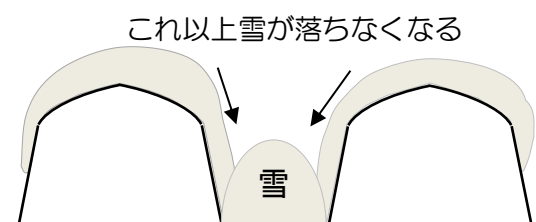
(2) 降雪時、降雪後の対策 ⇒ 早めに雪が落ちるようにする

○ハウスを密閉して冷気を入れない

ハウス屋根部分の気温を4℃程度にするのが理想。

雪の降る前から保温。作物が入っていない空きハウスは温度が上がりにくいので早めから保温をし、注意して管理する。ストーブの活用も考える。

○落下した雪の取り除き



ハウスの屋根から落下した雪が積み重なり、屋根の雪とつながると、屋根の雪が落ちなくなります。

特にハウスとハウスの間は雪がたまりやすいので早めに取り除きましょう。

※ ハウスの上に雪がたくさん積もっている時は、倒壊のおそれがあるため、ハウスの中に入るのは危険です。